

## 令和4年度 IR 推進センター 事業実施報告

### 1) 概要

IR 推進センター (Institutional Research Center) は、大学の教育研究に関する目標・事業計画の進捗状況の評価に必要なデータ及び分析結果の提供を行い、全学的な教育研究活動における適切な PDCA の推進を支援することを目的に、令和2年4月に設置されました。学内の各部署に蓄積されている入学前～卒後に至る多様なデータを統合・分析し、学生募集、教育研究活動、卒後支援に係る効果的なエンロールメント・マネジメント (入試～卒後までを一貫してサポートする総合的な学生支援策) に関する情報を管理し、各学部等からの分析依頼に対して結果をフィードバックするとともに、収集したデータに基づき、各学部等に対して改善施策の提案を行うのを主な業務としています。

### 2) 組織

- ・センター長 (副学長 (教育・研究担当)) 1名
- ・副センター長 (准教授) 1名
- ・担当教員 (助教) 1名
- ・事務担当 2名
- ・補助職員 1名

### 3) 沿革

令和2年4月 IR 推進センター設置

上田陽一副学長がセンター長となる。前田理恵子が事務担当となる。

令和3年1月 井上彰臣が副センター長 (准教授) となる。井上由貴子が助教となる。  
大野麻樹子が補助職員となる。

令和4年4月 高見直也が事務担当となり、事務担当が2名体制となる。

### 4) スタッフ (令和4年10月現在)

氏名	職名
上田 陽一	副学長・センター長・医学部 第1生理学講座 教授
井上 彰臣	副センター長・准教授 (専任)
井上由貴子	助教 (専任)
高見 直也	事務担当・大学事務部 次長
前田理恵子	事務担当・大学事務部 課長・大学管理課 入試事務室長
大野麻樹子	補助職員 (専任)

5) 令和4年度の活動内容

- ・ IR 推進センター運営会議の開催（全5回）
- ・ 一般社団法人日本経済団体連合会への活動紹介
- ・ 産業医科大学ニュース 685号（令和4年10月号）への寄稿（大学の現況と展望）
- ・ 年次報告（医学部 医学科、産業保健学部 看護学科、産業保健学部 産業衛生科学科／環境マネジメント学科）の作成
- ・ 第40回産業医科大学学会総会での活動報告
- ・ 医学部1～6年次生「コンピテンシー到達度自己評価アンケート」の実施
- ・ 医学部4年次生「カリキュラム評価アンケート」の実施

<IR 推進センター運営会議の議事概要>

回数	開催日	主な議題
第1回	令和4年4月22日	令和3年度 予算実績報告（案） 第3次中期目標・中期計画の進捗状況（最終年度）（案） 令和3年度 大学教育・研究に関する目標・事業計画（案） （最終評価） 令和3年度 事業実施報告（案） 年次報告の公開方法
第2回	令和4年7月25日	大学評価（認証評価）結果：総評・概評・提言において改善が求められる項目及び内容に係る改善状況（案） 令和3年度 事業実施報告（修正案） 年次報告の公開方法 第4次中期目標・中期計画の数値目標の見直し（案）
第3回	令和4年7月27日 （メール審議）	令和3年度 事業実施報告（修正案）の改訂
第4回	令和4年11月1日	産業医科大学アセスメントプラン（改定案） 医学部における学修成果および教員・カリキュラムの定期的な評価方法（案）
第5回	令和5年1月18日	令和5年度 事業実施計画・予算実施計画（案） 医学部における学修成果および教員・カリキュラムの定期的な評価方法（案） 医学部1～6年次生「コンピテンシー到達度自己評価アンケート」および医学部4年次生「カリキュラム評価アンケート」の実施方法（案）

6) 令和4年度の活動実績

6-1. 分析支援実績（申請番号および分析支援内容：カッコ内は対象学部）

R4-001 大学入試センター試験／大学入学共通テスト成績の年次推移（産保）

R4-002 学費免除者のコース離脱状況（医）

- R4-003 女子学生寮の入寮と成績 (医)
- R4-004 看護学科の仮想 GPA によるコンピテンシー到達度の推定 (産保)
- R4-005 令和 4 年度指導学生面談調査と令和 3 年度成績との関連 (医)
- R4-006 令和 4 年度一般選抜入学者の得点分布 (医)
- R4-007 産業衛生科学科の仮想 GPA によるコンピテンシー到達度の推定 (産保)
- R4-008 一般選抜における大学入学共通テストと第 2 次学力検査との関連 (医)
- R4-009 留年学生における里親制度の利用と進級との関連 (医)
- R4-010 留年回数と卒業率との関連 (医)

## 6-2. 企画支援実績 (内容および対応する分析支援の申請番号)

- ① 産業保健学部のコンピテンシー到達度指標の作成支援 (R4-004、R4-007)

### 7) 教育業績 (専任教員)

< 卒前教育 >

医学部：心理学

産業保健学部：疫学基礎、疫学応用、メンタルヘルス概論、組織心理学

< 卒後教育 >

医学部：産業医学総合実習 (D. 「メンタルヘルス」)

産業医学基本講座 (本学開催) (健康管理実習)

産業医学基本講座 (東京開催) (メンタルヘルス対策実習)

### 8) 研究業績 (専任教員)

- ・ 市倉加奈子, 守屋利佳, 千葉宏毅, 井上彰臣, 渡辺和広, 荒井有美, 島津明人, 深瀬裕子, 村瀬華子, 田ヶ谷浩邦, 堤 明純. オンライン授業におけるカウンセリング動画活用型コミュニケーション演習の実施可能性および有用性. 日本ヘルスコミュニケーション学会雑誌 2022; 13(1): 52–61.
- ・ Tsuno K, Shimazu A, Osatuke K, Shimada K, Ando E, Inoue A, Kurioka S, Kawakami N. Assessing workplace civility: validity and one-year test-retest reliability of a Japanese version of the CREW Civility Scale. J Occup Health 2022; 64(1): e12332.
- ・ Watanabe K, Inoue A, Eguchi H, Iwata N, Odagiri Y, Tsutsumi A. Suggestions for new organizational-level item pools for the national Stress Check Program from management philosophy and mission statement: a qualitative study using unsupervised learning. J Occup Health 2022; 64(1): e12335.
- ・ Eguchi H, Inoue A, Hino A, Tsuji M, Tateishi S, Ikegami K, Nagata T, Matsugaki R, Fujino Y. Effect of working from home on the association between job demands and psychological distress. Int J Environ Res Public Health 2022; 19(10) 6287.

- 井上彰臣. リモートワークと労働者の心の健康：留意点と対策. 産業保健と看護 2022; 14(3): 239–243.
- 井上彰臣. データの分析と活用のポイント. 産業保健と看護 2022; 14(4): 298–303.
- Sasaki N, Inoue A, Asaoka H, Sekiya Y, Nishi D, Tsutsumi A, Imamura K. The survey measure of psychological safety and its association with mental health and job performance: a validation study and cross-sectional analysis. Int J Environ Res Public Health 2022; 19(16): 9879.
- Sasaki N, Imamura K, Watanabe K, Hidaka Y, Ando E, Eguchi H, Inoue A, Tsuno K, Komase Y, Iida M, Otsuka Y, Sakuraya A, Asai Y, Iwanaga M, Kobayashi Y, Inoue R, Shimazu A, Tsutsumi A, Kawakami N. The impact of workplace psychosocial factors on menstrual disorders and infertility: a protocol for a systematic review and meta-analysis. Syst Rev 2022; 11(1): 195.
- Tsuno K, Kawakami N, Tsutsumi A, Shimazu A, Inoue A, Odagiri Y, Shimomitsu T. Victimization and witnessing of workplace bullying and physician-diagnosed physical and mental health and organizational outcomes: a cross-sectional study. PLOS ONE 2022; 17(10): e0265863.
- Inoue R, Hikichi H, Inoue A, Kachi Y, Eguchi H, Watanabe K, Arai Y, Iwata N, Tsutsumi A. Workplace social support and reduced psychological distress: a 1-year occupational cohort study. J Occup Environ Med 2022; 64(11): e700–e704.
- Kachi Y, Fujiwara T, Inoue A, Baba S, Eguchi H, Ohta H, Tsutsumi A. The effects of pregnancy discrimination on postpartum depressive symptoms: a follow-up study. BMC Pregnancy Childbirth 2022; 22(1): 825.
- Inoue A, Eguchi H, Kachi Y, Tsutsumi A. Low adaptation to management philosophy and refraining from seeking medical care in Japanese employees: a 1-year prospective study. J Occup Environ Med 2022; 64(12): 1007–1012. (米国職業環境医学会 (ACOEM) による医師生涯教育 (CME) の課題論文に選定)
- Watanabe K, Imamura K, Eguchi H, Hidaka Y, Komase Y, Sakuraya A, Inoue A, Kobayashi Y, Sasaki N, Tsuno K, Ando E, Arima H, Asaoka H, Hino A, Iida M, Iwanaga M, Inoue R, Otsuka Y, Shimazu A, Kawakami N, Tsutsumi A. Usage of the Brief Job Stress Questionnaire: a systematic review of a comprehensive job stress questionnaire in Japan from 2003 to 2021. Int J Environ Res Public Health 2023; 20(3): 1814.
- 井上彰臣. あの研究室を訪ねてー東京大学大学院医学系研究科デジタルメンタルヘルス講座 特任教授／東京大学 名誉教授 川上憲人先生ー. 行動医学研究 2023; 27(1): 56–62.
- 井上彰臣. CAT を用いた職場環境評価システムとそれを活用した職場環境改善マニュアル. 安全衛生コンサルタント 2023; 43(145): 84.

- Sakuraya A, Iida M, Imamura K, Ando E, Arima H, Asaoka H, Eguchi H, Hidaka Y, Hino A, Inoue A, Inoue R, Iwanaga M, Kobayashi Y, Komase Y, Otsuka Y, Sasaki N, Shimazu A, Tsuno K, Watanabe K, Kawakami N, Tsutsumi A. A proposed definition of participatory organizational interventions. *J Occup Health* 2023; 65(1): e12386.